

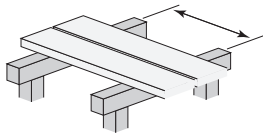
# 施工者様へ

# 必ずお読みください

## 施工上の注意

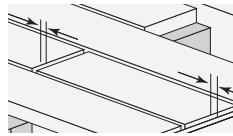
1) 最重要寸法 (必ず以下の寸法を守ってください) ※一般的なデッキ以外は、根太ピッチは状況によりご判断ください。

### 根太ピッチ(芯々)



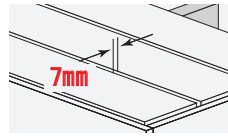
450mm 以内  
(床材ムクは 500mm 以内)

### 床板長手方向の隙間



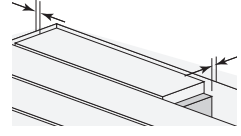
7mm

### 床板幅方向の隙間



7mm  
(雨天打ち時 5mm 以上)

### 躯体との隙間



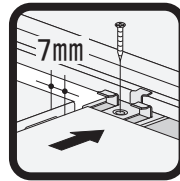
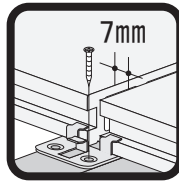
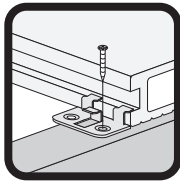
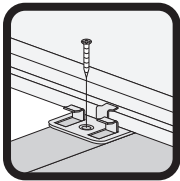
10mm 以上

## 2) 「ステンレス止め部品セット」の使い方

(床板中間部)

(床板端部)

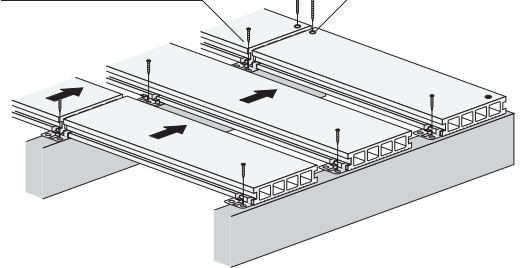
(床板継目)



ステンレス止め部品セット  
(ステンコース3.9×28生地)  
(なべドリルネジ 4×16生地)

端用ビス  
(ステンコース3.8×51)  
(皿ドリル 4×50)

丸穴(直径5)、座繰り

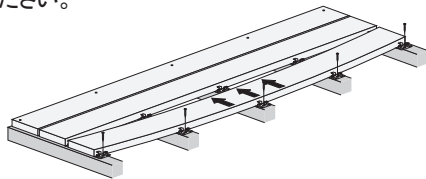


### 注意

- ※止め部品1セットにつき、ビス1本で固定してください。
- ※継ぎ目は止め部品の向きに注意して固定してください。
- ※床材ムクの固定は全て端用ビスと同様となります。

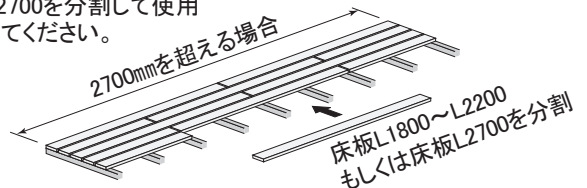
## 3) 曲がりのある床板の対応

下図のように隣の床板を固定した後、曲がり山を外側に向けた床板の中央を押して矯正しながら止め部品をセットし、ビス固定してください。



## 4) 床板の使用長さ制限

床板が長いほど伸びしろが多いため、長手方向が2700mm以上の場合には床板L1800やL2200、もしくはL2700を分割して使用してください。



●特に長尺物は、立て掛けたり平らでない場所や日差しが強い場所に長時間置くと、変形が生じて施工時に支障が出ますので、コンクリート土間や枕木上等の平らな場所をお選びください。

●「ネオカットウッド」は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますのでお避けください。

●商品は熱を発生するものの近くには置かず、重ねる際は荷重が集中しないようにしてください。

●本商品は熱による伸縮があるため、躯体や障害物がある場合は隙間を十分取ってください。

●床板は溝のある面(溝面)と溝のない面(サンド面)があり、施主様の用途やお好みによって使い分けてください。

●本商品は樹脂が含まれるため、日中や強い日差しで高温になります。素手や素足で触れると火傷をする恐れがありますので、施工時は保護具を使用してください。

●本商品はペンキや接着剤の使用、釘での固定はお避けください。

●切断時は、少ない数量であれば家庭用鋸で可能ですが、なるべく大型かつ据置式の丸鋸をご用意ください。

●「ネオカットウッド」幕板のような比較的薄い商品や、「ネオカットウッド」床板のような中空材は多少の反りや曲がりがありますが品質上の問題はありませぬので、矯正しながら土台や基礎にしっかり固定してください。

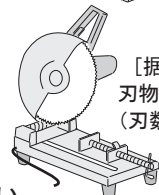
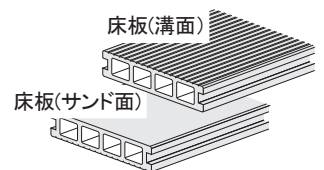
●床材の反りを抑えるため張り方は千鳥とし、土台部を基礎や躯体へ固定しないでの施工は、部材の変形や破損、不具合の原因となるためお避けください。

●床板キャップを使用する際は、床板を張る前に床板にはめ込み、なるべく側面からビス固定してください。

●床板内部に水が浸入する恐れがある場合は、中空部下面に水抜き穴(6~8mm)を設けてください。

●床板を幅加工する場合はなるべくリブを残し、床板の強度が落ちるため中空部に補強材を挿入したり、土台部に補助根太を追加するなどしてください。

床板表面温度が40°C変化  
⇒1mあたり約2mm伸縮



【据置式の丸鋸】  
刃物直径300mm以上  
(刃数60~80ピッチ)

お施主様へ

⚠️ 必ずご確認ください

ネオカットウッド商品を快適にお使い頂くために、お施主様にお渡し、ご使用前にお読み頂き、保管してください。

### ご理解ください

天然木の木粉を使用している人工木材の特性上、部材ごとに色の濃淡の差が出る場合があります。木材に含まれる粒子状の成分が表面に浮き出る場合があります。

### ご使用上の注意

#### 1. デッキの上では必ず履物を履いてください。

デッキは日中、日差しが強い時など高温になります。素足で歩くとやけどをする恐れがあります。特に幼児が使用される場合は注意してください。

#### 2. 表面に付着したシミや汚れは早めに取り除いてください。

天然木同様に、ホコリや汚れを長時間放置すると、シミや黒ズミ、カビの発生原因となりますので、こまめに汚れを取り除いてください。(下記の「お手入れについて」を参照してください)

#### 3. 衣類・布団・洗濯物などをデッキや手摺に置かないでください。

表面のこすれや経年変化により発生した粉が、直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・洗濯物などが直接触れないようにしてください。

#### 4. 以下のような、部材の変形や破損を招く行為はしないでください。

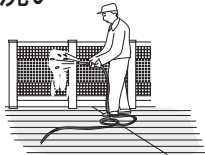
- ・デッキ上やデッキ付近で暖房器具やコンロなど、熱を発生するものの使用。
- ・手摺リフェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷。
- ・手摺リパネルにボールをぶつけるなどの強い衝撃。
- ・デッキ上への重量物の長期間の積載。
- ・規定の荷重を超える使用。(最大荷重120kgf/m<sup>2</sup>)

### お手入れについて

通常の清掃 ⇒ ホースやブラシによる水洗い

#### ①ホースによる水洗い

雨天の後に習慣的に  
行うとより効果的です。



#### ②ブラシによる掃除

汚れがひどい場合は、  
ブラシ掛けを並行して  
行ってください。



水洗いで落ちない場合 ⇒ 真鍮ブラシや洗浄機、洗剤によるこすり洗い

#### ①真鍮ブラシで表面を擦る

商品を傷付けないよう必ず  
真鍮製を使用してください。



#### ②高圧洗浄機を使用

真鍮ブラシや高圧洗浄機は  
ホームセンターなどで購入  
できます。



#### ③洗剤を使用する

- ・十分な清掃後、中性洗剤を使用してタワシやブラシでこすってください。
  - ・中性洗剤で落ちない場合は、十分な水洗いをした上で次亜塩素酸系漂白剤(ハイター・カビキラー等)を使用してください。
- ≪注意≫
- 漂白剤を使用する際は、商品の使用方法・注意事項を良く読み、内容を理解した上で使用してください。
  - 洗剤・漂白剤を使用した場合、白っぽくなる場合がありますので、全体に渡って使用し、使用後は長時間放置せずに十分水で洗い流してください。
  - 漂白剤を使用した後、洗い流した水が植栽にかかるると枯れるなどの悪影響を与えますので、十分注意してください。

表面に傷がついた場合 ⇒ サンドペーパーで擦る

市販のサンドペーパー( #80程度)を  
使用し、筋目に合わせて周囲となじま  
せるように仕上げてください。

